

普及活動情勢報告（平成29年9月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

「どうすればもっと就農しやすくなる？」 ～キュウリ部会意見交換！～



前向きな多数の意見が続出

8月30日に、JA高知春野きゅうり部会の新規就農者や研修生、指導農業士と関係機関を交え、のべ39名の出席者で意見交換会を行いました。

部会役員から、「空きハウスを貸してもらえよう交渉する場に、役員やJAだけでなく、農業委員会などの関係機関も同行してほしい」、という意見が出て、今後は対応することになりました。また、Iターンの新規就農者から、「冠婚葬祭時に3日ほどハウスを空けなければならない時に管理が困る」といった意見が出され、その対策を部会内で検討することになりました。

今回出た意見をもとに、より新規就農しやすい環境をつくるために、普及所は、関係機関と協力して新規就農者へのフォローアップ体制を充実させていきます。

「うちの経営は儲かってる？」 ～新規就農者カウンセリング～



経営と栽培を交えカウンセリング中

8月末から9月上旬にかけて、26～29園芸年度にJA高知春野きゅうり部会の農家研修を受けて就農した6組（うち夫婦2組）の新規就農者のカウンセリングをJAと連携して行いました。

経営・栽培担当が、部会全体の出荷実績や青色申告会の決算データと新規就農者毎の実績を比較した表やグラフを示し、前作の反省と次作の改善点などを確認しました。「生活費や借入金の返済を含めると、反収目標〇〇tに修正」や「炭酸ガスの施用方法の見直」、「実際の灌水量を確認」など、担当者からの具体的な提案や、農家自身が次作の実践内容を確認しました。

普及所では、新規就農後の経営安定に向けて、JA等と連携し、フォローアップを継続して行っています。

自分の土の特徴を把握しよう！！ ～JA高知市旭支所草花研究会～



「夏休みの自由研究みたいやね」と笑いながらの実習

8月31日にJA高知市旭支所草花研究会が土壌の講習会を開催し、5名の生産者が参加しました。

講習会では普及所職員が講師になり、全員が持ち寄った土で、ペットボトルなど身近な物を用いて土の物理性を測定する実習を行いました。参加者からは「今まで感覚でしか分からなかったことが、数字で見られて面白い」「講義を聞くだけの講習会よりも、実習があると印象に残る」という声が聞かれ、普段は目に見えない土への関心が高まりました。

次回は11月に現地検討会を行い、部会員と共に“より良い土づくり”に取り組んでいきます。

女性農業者が SNS での情報発信について勉強しました ～はちきん農業大学～



SNS の利用状況は？

9月8日、普及所において、女性のための農業講座はちきん農業大学「農業で活かせる SNS での情報発信（初級編）」を開催し、8名の女性が受講しました。普及所の職員が、SNS の種類やそれぞれの特徴、利用方法などを詳しく説明しました。そして、SNS の影響力を活かして農村、農業、農家の体験や生の声を世界にもっと発信しようと呼びかけました。

参加者からは「知らなかった機能を教えてもらえて良かった」、「それぞれ SNS の特徴が分かって良かった」など好評でした。

次回のはちきん農業大学では「環境制御技術を学ぶバスツアー」を企画しており、今後も受講生の資質向上を支援していきます。

秋本番！新高梨の収穫の時期がやってきました ～針木梨組合食味会～



いつから解禁にするか、協議中

針木梨組合が、高知市針木で新高梨の食味会及び出荷目慣らし会を9月25日に開催し、生産者、市場関係、関係各機関、報道陣等約60名が参加しました。

生産者から持ち込まれた個々の果実を生産者、JA、普及所が品質の分析を行いました。そして、参加者全員による食味検査と目慣らし会を行い、その結果をもとに、出荷時期を9月26日と決めました。今年の新高梨の出来は、肥大型の少雨により、やや小ぶりではありますが、糖度は13度を超え平年並みと高く、果肉品質は良好です。

普及所では、今後も新高梨の高品質の安定生産のために針木梨組合を支援していきます。